

令和7年12月5日(金)



1年生の数学は、平面図形の授業で円と扇形の問題に取り組みました。授業の導入では、「円の中心角と面積の関係」「中心角と弧の長さ」などの既習を振り返るなかで、スクールタクトのワーククラウド機能を活用しました。これまでの振り返りやまとめて触れていた数学的な見方・考えた方や数学用語について、多くの生徒が言及していたキーワードをAIが拾い上げ、スクリーンに大きく映し出されていました。それを踏まえて、本時のねらいである「扇形の弧の長さ・面積・中心角を求めよう」が提示されました。数学の授業は、問題解決を通して得られた数学的な見方・考え方等を発展させたり統合させたりして、新たな問題を発見し、また問題解決に取り組むという学びの循環を繰り返して、数学の体系をつくっていきます。本時においても、ねらいを確認する段階でそのことが行われ、また、授業の後半でも本時の学習内容を踏まえて、「次に考えることは何か？」という先生の投げ掛けがあり、新たな問題を発見し、解決に取り組みました。



こちらも1年生の授業。体育のバスケットボールです。バスケットボールは、小学校のころから体育では慣れ親しんだ種目ですが、中学校の授業ではより深く学ぶようになります。本時のねらいは、「ゴール前での攻防を考えよう」でした。オフェンスにおいて数的有利の状況を作りスペースを生かすこと、反撃されたときのために1人が直ぐにディフェンスできるように準備すること、など徐々に状況が変わる中で、どのように判断して動くかが課題です。チームごとに動きを確認しながらゲームに臨みました。写真は、最後の振り返りの場面です。何を話しているのか耳を傾けると、勝敗をどうこう言う生徒は一人もおらず、自分たちの作戦が奏功したかを話し合っていました。「やっぱり、フリーの人にボールを渡すって大事だね」、「フリーになった人はゴール付近にいた方がいい」、「ボールをカットしてカウンターはうまくいったけど、ゴール付近でボールを渡す相手がいなかった」など、できたことやできなかったことを冷静に分析していました。



ふじみ野市上下水道課から3年生たちに学業成就のコースターがプレゼントされました。上下水道課は、これまで様々なマンホールコースターを作成して市民に配付していましたが、このたび受験生へのエールとして特別に作られたコースターです。コースターの裏面には、「マンホールは丸いから、どんな向きでも穴に落ちない。マンホールは、絵柄の加工を工夫しているからすべらない。そんな縁起物のマンホールで、受験生のみなさんを応援します。」と書かれています。ちなみに、先日担当者から話を聞く機会があり、「ふじみんは、桜の妖精なので、春には桜咲く朗報を願っています。」とおっしゃっていました。

